

平成 26 年度

糸島市教育委員会の点検・評価に関する報告書



平成 27 年 8 月

糸 島 市 教 育 委 員 会

目 次

1 点検・評価の趣旨	P1
2 教育委員の活動状況	P2
3 施策の取組状況 総括表	P5
点検及び評価シート	P7
4 点検・評価に関する学識経験者からの意見	P28
5 資料 教育委員会委員名簿（平成27年3月31日現在）	P29
平成26年度糸島市教育委員会組織機構図	P29

1 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することになりました。

このことを受け、糸島市教育委員会では、教育委員の活動状況や毎年度策定する「糸島市教育基本方針」に掲げる平成26年度の主要施策をもとに点検・評価を実施し、ここに報告書としてまとめました。

糸島市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進と住民への説明責任を果たしていくため、より一層の教育委員会の充実に努めてまいります。

なお、平成27年度からの点検評価については、新たに本年4月策定した「糸島市教育振興基本計画」に定める各数値目標に基づく具体的な成果を公表し、点検評価を行うことといたしております。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員の活動状況

教育委員会会議、学校訪問等の状況

期 日	会議・行事等	備考
4月 1日	教職員赴任式	
4月 10日	中学校入学式	
4月 11日	小学校入学式	
4月 18日	福岡県市町村教育委員会連絡協議会総会	福岡県庁
4月 21日	福岡県市町村教育委員会委員長・教育長会議	福岡県庁
4月 25日	第1回教育委員会 (定例)	
5月 23日	第2回教育委員会 (定例)	
6月 4日	第3回教育委員会 (臨時)	
6月 20日	第4回教育委員会 (臨時)	
6月 25日	第5回教育委員会 (定例)	
7月 9日	二丈中学校 学校改善訪問	
7月 18日	第6回教育委員会 (定例)	
8月 1日	第7回教育委員会 (臨時)	
8月 22日	第8回教育委員会 (定例)	
9月 29日	第9回教育委員会 (定例)	
10月 9日	前原西中学校 学校訪問	
10月 20日	市長との意見交換会	
10月 20日	第10回教育委員会 (定例)	
10月 20日	波多江小学校 学校改善確認訪問	
11月 10日	管理職任用候補者面接	
11月 11日	管理職任用候補者面接	
11月 21日	前原南小学校 学校訪問	
11月 21日	第11回教育委員会 (定例)	
12月 19日	二丈中学校 学校訪問	
12月 19日	第12回教育委員会 (定例)	
1月 30日	桜野小学校 学校改善確認訪問	

期日	会議・行事等	備考
1月30日	第13回教育委員会（定例）	
2月16日	第14回教育委員会（臨時）	
2月20日	可也小学校 学校訪問	
2月20日	第15回教育委員会（定例）	
3月2日	第16回教育委員会（臨時）	
3月13日	中学校卒業式	
3月18日	小学校卒業式	
3月27日	第17回教育委員会（定例）	
3月31日	教職員離任式	

平成26年度 教育委員会審議案件一覧表

議案番号	議案名	備考
議案第1号	糸島市社会教育委員の委嘱について	第1回
議案第2号	糸島市立青少年育成指導員の委嘱について	第1回
議案第3号	糸島市立公民館運営審議会委員の委嘱について	第1回
議案第4号	糸島市立小中学校の通学区域を定める規則の一部を改正する規則について	第2回
議案第5号	糸島市教育振興計画（案）について	第3回
議案第6号	糸島市いじめ防止基本方針（案）について	第4回
議案第7号	平成25年度糸島市教育委員会の点検・評価に関する報告書について	第6回
議案第8号	平成27年度使用小学校教科用図書の採択について	第7回
議案第9号	教職員の懲戒処分の内申について	第8回
議案第10号	糸島市いじめ防止等対策委員会規則の制定について	第9回
議案第11号	糸島市立公民館運営審議会委員の委嘱について	第9回
議案第12号	糸島市立図書館移転整備計画書について	第10回
議案第13号	平成26年度全国学力・学習状況調査の市町村別結果の公表について	第10回
議案第14号	糸島市立小・中学校校長、副校長及び教頭の人事異動内申について	第14回
議案第15号	糸島市立小・中学校教職員の人事異動内申について	第14回

議案番号	議案名	備考
議案第 16 号	糸島市教育振興基本計画の策定について	第15回
議案第 17 号	平成 27 年度糸島市一般会計当初予算案作成における教育に関する事務に係る部分の意見聴取について	第15回
議案第 18 号	市指定史跡名勝天然記念物（史跡）の指定について	第16回
議案第 19 号	市指定有形文化財（歴史資料）の指定について	第16回
議案第 20 号	糸島市教育委員会事務局職務執行基本規則の一部を改正する規則について	第17回
議案第 21 号	糸島市教育委員会公告式規則等の一部を改正する規則について	第17回
議案第 22 号	糸島市教育委員会教育長の権限に属する事務の一部を校長に委任する規程の一部を改正する訓令について	第17回
議案第 23 号	糸島市教育相談室設置規程の一部を改正する告示について	第17回
議案第 24 号	糸島市適応指導教室設置規程の一部を改正する規則について	第17回
議案第 25 号	糸島市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について	第17回
議案第 26 号	糸島市立図書館運営委員会設置規程の一部を改正する告示について	第17回
議案第 27 号	糸島市立図書館サービス基本計画検討委員会設置規程の一部を改正する告示について	第17回
議案第 28 号	糸島市立公民館条例施行規則の一部を改正する規則について	第17回
議案第 29 号	糸島市スポーツ推進委員の委嘱について	第17回

平成 26 年度 教育委員会臨時代理報告案件一覧表

報告番号	報告案件名	備考
報告第 1号	糸島市スポーツ推進委員の委嘱について	第1回
報告第 2号	糸島市社会教育委員の委嘱について	第2回
報告第 3号	糸島市公民館運営審議会委員の委嘱について	第6回

* その他協議案件、報告案件あり。

3 施策の取組状況

【 総括表 】

1. 「生きる力」を育む学校づくり

「確かな学力」を育成する教育の充実	A
① 学力向上事業	
② 九州大学等との連携事業	
「豊かな心」を育成する教育の充実	B
① 小中学校連携事業	
② 個に応じたきめ細かな生徒指導事業	
「健やかな体」を育成する教育の充実	B
① 健やかな体をつくる食育の推進事業	
② 健康・安全教育の推進事業	
「特別支援教育」の充実	A
① 特別支援教育推進体制の充実事業	
② 特別支援学級、通級指導教室における指導充実事業	
「信頼される学校づくり」の充実	A
① 人権教育推進事業	
② 学校評価推進事業	
③ コミュニティ・スクール推進事業	
今後の課題に対応した教育の充実	A
① 情報教育推進事業	
② 英語教育推進事業	
学校教育を支える基盤の充実	B
① 学校施設整備の推進事業	

2. 生涯学習環境の整備・充実

市民の学び方に応じた支援体制の確立と人的資源の活用	B
① 学習できる環境づくりの推進	
② ボランティア活動の推進	
③ 九州大学等との連携	
地域の拠点としての公民館活動の推進	B
① 公民館講座の開設	
② 地域諸事業（活動）の支援	
③ 利用者の立場に立った公民館運営	
④ 九州大学との連携	
生涯学習施設の整備	A
① 生涯学習施設（公民館・図書館・体育施設等）の機能充実と整備	
② 図書館等教育関連施設整備事業の推進	
③ 支所廃止後の図書館整備の検討	
図書館サービス基本計画の実現	B
① 図書館利用の推進	
② 図書館3館体制の図書館サービスの充実	
③ 図書館と学校・保育所等との連携事業の推進	
青少年健全育成に向けた環境整備	B
① 学校・家庭・地域の連携強化	
② 健全育成事業の推進	
移動天文台事業の充実	A
① 観望会の実施	
② 指導ボランティアの育成	
③ 天文台を中心としたネットワークづくり	

3. スポーツ・レクリエーションの振興

スポーツ・レクリエーション施設の整備充実及び利用の推進	
① スポーツ施設の充実	B
② 学校施設開放事業の推進	
③ 総合運動公園の検討	
生涯スポーツの振興	
① ニュースポーツ講習会の開催等によるスポーツ人口の拡大	A
② スポーツレクリエーション情報の提供、指導体制の整備	
③ 地域活動指導員による講座の実施	
指導・相談体制の充実	
① スポーツ推進委員、各種スポーツ指導員の育成	B
② 体育協会・スポーツ少年団及び各種スポーツ団体の育成指導	
③ 各種スポーツに係る相談体制の充実	
④ 地域活動指導員による健康づくりの推進・指導	
大会・交流の推進	
① スポーツフェスティバル等大会・試合等の推進	B
② 福岡マラソンの開催支援	

4. 文化・芸術のまちづくり

伊都国歴史博物館等の整備・充実・活用	
① 博物館等の活用事業	B
史跡の整備と活用	
① 指定文化財等の環境整備事業	A
文化財の保護・活用	
① 文化財の保護・活用事業	B
文化・芸術の振興	
① 文化事業の充実	B
② 文化芸術関係団体の支援と連携	
③ 伊都文化会館及び伊都郷土美術館の整備と活用	

評価について

A	効果が上がっている
B	概ね効果が上がっている
C	あまり効果が上がっていない
D	改善の必要がある

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「確かな学力」を育成する教育の充実
2 事業名	①学力向上事業 ②九州大学との連携事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	各種学力実態調査の結果を踏まえ、各学校における児童生徒の実態に応じた学力向上の取組を支援する。 子どもたちの学ぶ意欲や授業力の向上を図るために九州大学との連携事業を推進する。
5 事業の内容	○各種学力実態調査及び学級満足度調査の分析 ○土曜授業の促進 ○小中連携事業の促進 ○中学校勉強合宿（中1・中3対象）の促進 ○九州大学等との連携による教育の充実 ○市教育センターにおける教職員研修の充実
6 取組状況	各種学力調査の分析を行い、本市の児童生徒の学力と学習・生活習慣等との関連について分析を行い、糸島市学力向上推進委員会において課題を共有した。 土曜授業については、小学校において平均5.9回、中学校において平均6.4回を実施した。 小中の連携については交流事業や合同研修会を開催し、全中学校区で学習規律の統一や指導方法の共有を図った。 中学校勉強合宿については中学校1年・中学校3年ともに6校全てが実施した。 九州大学との連携事業として、中学生に対して夏期休業中に4日間、九大伊都キャンパスでの「伊都塾」を開催し、80名の参加を得た。 市教育センターにおいては、授業力向上に特化した講座を小中合同で2回開催し、のべ46名の教職員が研修に參加した。
7 成果と課題、今後の方向性	□成果 全国学力実態調査及び福岡県学力実態調査の結果から、以下のようないい成果を得ることができた。 ・小学校においては国語・算数・社会・理科の全区分において国や県の平均を上回った。 ・中学校においては、国語・数学・社会・理科・英語の全区分において国や県の平均を上回った。 ■課題 平均値は上昇しているものの、学校間の差が見られることから、成果を上げている学校の実効策を市全体で共有したり、課題の多い学校への支援を厚くしていく必要がある。 土曜授業の実施においては学力向上に向けた取組が行われた時数を明らかにするとともに、コミュニティ・スクールの実施と関連させ、保護者や地域との協働を促進する必要がある。また、学習習慣の定着に向け、放課後学習室等の事業化を図る必要がある。

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「豊かな心」を育成する教育の充実
2 事業名	①小中学校連携事業 ②個に応じたきめ細かな生徒指導事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	子どもたちの規範意識の向上と不登校の予防・改善に向けて、小中学校の接続を円滑に行うための情報収集・活用等の教育活動の充実を図る。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○心に響く道徳教育の充実 ○スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置及び関係機関との連携 ○いじめ防止基本方針の策定 ○スクールカウンセラー（SC）の中学校配置（県事業）
6 取組状況	<p>道徳教育の充実に向けては、自分のこれまでの姿を振り返り将来を考える活動として、小学校4年生において「2分の1成人式」中学校2年生において「立志式」を設定し、小学校15/16校、中学校2/7校が実施した。また、心身を鍛錬し社会性や克己心を身につけさせる「野外宿泊活動」については、小学校15/16校、中学校4/7が実施した。</p> <p>生徒指導及び教育相談の充実として、2名のSSWを配置するとともに、各種相談機関の充実を促進した。SSWの訪問回数は37件、教育相談室への相談はのべ2080件、適応指導教室においては8人の指導を行った。また、「糸島市いじめ防止基本方針」を策定し、「いじめ問題対策連絡協議会」及び「いじめ防止等対策委員会」を設置した。</p> <p>SCについては全中学校に配置し、いじめや不登校に対する生徒・保護者・教員等の相談を実施した。</p> <p>SNS問題について、中学校の生徒会活動を中心として自主的なルール作りに向かわせるために、子どもサミットを開催した。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>小学校においては「2分の1成人式」が定着するとともに、中学校においても「立志式」実施の計画が進行している。</p> <p>SSWや各種相談への相談件数は増加しており、ニーズに応える活動となり得ている。不登校の解消率は小学校55%（全国32.9%）・中学校47%（全国29.8%）で国の解消率を上回っている。</p> <p>糸島市いじめ防止基本方針の制定を受けて、全小中学校において各校の「いじめ防止基本方針」が策定された。</p> <p>■課題</p> <p>「2分の1成人式」「立志式」とともに未実施の学校があり、完全実施を促進する必要がある。野外宿泊活動は小学校で定着しているが、困難克服体験などを適切に位置付けているかを検証する必要がある。</p> <p>糸島に生まれ育ったことへの誇りを育むために、郷土について学ぶ場を設けるとともに、そこで活用する教材の準備が必要である。</p> <p>不登校については、小学校での発生率が0.54%、中学校での発生率が3.62%と前年度に続き全国平均を上回っており、学校の対応強化を図るとともに、各種相談期間との連携を強化する必要がある。</p> <p>SNS等に関わるいじめ防止のために、児童生徒によるルール作りを通した規範意識高揚を促進する必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「健やかな体」を育成する教育の充実
2 事業名	①健やかな体をつくる食育の推進事業 ②健康・安全教育の推進事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	健やかな体を育むための学校と家庭、地域の役割を明確にし、それぞれが責任を果たす。 新体力テスト等の結果や各種事業の活性化を図る。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○健やかな体をつくる食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・料理教室、給食交流会、ふるさと発見ランチ、食育の日 ○体力向上事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・一校一取組の推進、アスリート等人材・スポーツ指導員の活用
6 取組状況	<p>生産者やゲストティーチャーを活用する給食交流会を、小学校12校において実施した。また学校給食においては常に地域の旬や特産品に着目した献立を提供する努力を続けている。地域特産の食材であることをアピールする「ふるさと発見ランチ」については、年間12回実施した。毎月19日の「食育の日」で、地域特有の料理を献立にいれるなどの取組は年間3回実施した。夏期休業中に栄養士・給食調理員等による地元食材を使った子ども料理教室を1回開催した。</p> <p>児童生徒の実態に即して日常的に取り組む一校一実践については、小中学校ともに全校において実施した。運動能力に秀でたアスリートや継続的に運動に取り組んでいる人材を体育の授業に招いた学校は15/22校であった。体力テストや体育科の授業充実のために、また、生涯にわたって運動に親しむニュースポーツを学ぶためなどにスポーツ指導員の活用を図った学校は、小学校15/16校・中学校1/7校であった。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>朝食摂取率は小学6年生が96.1%、中学3年生が93.9%と、ともに僅かではあるが全国平均を上回っており、食育及び健康教育の成果がうかがえる。学校における食材の地産地消率は、野菜・果物が39.15%、米を含むと58.2%であり、他団体に比べて高い傾向が見られる。学校給食を教材とする食育の充実を図ることができている。</p> <p>体力テストの結果（体力・運動能力得点）を国・県と比較すると、本市の児童生徒の方が若干高い傾向が見られた。</p> <p>■課題</p> <p>依然として朝食を食べていない子どもがいることから、家庭に対する食育の浸透を図る必要がある。</p> <p>中学校においては、アスリートやスポーツ指導員の活用が実施されていない学校があり、促進する必要がある。</p> <p>運動を「ほぼ毎日する」「ときどきする」児童生徒の割合が中学校で減少する傾向にある。特に女子は、小学校5年で5.3%あったものが中学校2年では14.7%と大きく増加する。生涯体育の視点から、運動種目の拡充や指導員の活用促進を図る必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「特別支援教育」の充実
2 事業名	①特別支援教育推進体制の充実事業 ②特別支援学級、通級指導教室における指導充実事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	各学校の特別支援コーディネーター研修の実施や支援計画の作成による校内体制の充実を図る。 特別支援教育支援員の配置によるきめ細かな指導の充実を図る。 通級学級における特別な教育的ニーズのある児童への指導の充実を図る。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育推進体制の充実 ○みなかぜ相談の充実 ○臨床心理士学校巡回事業 ○共同・交流学習の充実
6 取組状況	<p>各学校において特別支援コーディネーターを中心とした校内体制の整備を行い、個別の支援計画・個別の指導計画の作成を推進した。また、合理的配慮が必要な子どもを支援する特別支援教育支援員を32名配置し、交流教育を促進した。</p> <p>通常学級における配慮をする児童生徒のニーズを把握し指導の充実を図るために、「みなかぜ相談」を設置し、のべ307件の相談を実施した。</p> <p>臨床心理士学校巡回事業については、学校の要請に基づいて臨床心理士を学校に派遣し、支援を必要とする児童生徒への対応について学ぶ機会を提供するとともに、関係機関との連携を支援した。臨床心理士の巡回相談は、のべ83回となった。</p> <p>校区内に在住する特別支援学校に通学する児童生徒と、市内小中学校に通学する児童生徒との共同・交流学習は、6校でのべ12回実施した。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>特別支援教育支援員については小学校23名、中学校9名の配置を行い、学校の実態に応じた支援体制の整備に努めることができた。</p> <p>みなかぜ相談の充実を図るとともに、通級指導教室については東風小学校で14名、南風小学校で12名、前原西中学校で12名の児童生徒が利用しており、個々の障害特性に応じた指導を受けることができる。</p> <p>個別の支援教育・指導計画については全小中学校が具体化した。</p> <p>■課題</p> <p>支援を必要とする子どもの増加に伴い、きめ細かな支援の在り方について、通常学級の担任を対象とした研修会等をさらに推進する必要がある。また、学校関係者と保護者それぞれに対して、相談経路や機関の周知を図る必要がある。特別支援教育に対する理解が広がり、児童生徒・保護者のニーズが急速に高まっている中で、通常学級における指導上の配慮が必要な子どもへの対応を充実させる必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1. 主要施策名	「信頼される学校づくり」の充実
2. 事業名	①人権教育推進事業 ②学校評価推進事業 ③コミュニティ・スクール推進事業
3. 担当課	学校教育課
4. 事業の目的	人権が尊重される「学習活動」「人間関係」「環境」づくりの充実を図る。 学校関係者評価を活用して学校運営の方針や実働状況を公表し、保護者や地域住民の参画や協働によって児童生徒を育成するシステムを構築する。 教職員の実践的指導力の向上を図るために、校内研修の支援並びに糸島市教育センター事業の充実を図る。
5. 事業の内容	○人権・同和教育の充実 ○開かれた学校づくりの推進 ○教職員の実践的指導力を高める人材育成の充実
6. 取組状況	同和教育副読本「かがやき」人権教育学習教材集「あおぞら」の計画的な活用をはじめ、各学校で道徳の時間の授業参観等を積極的に行なった。また、「人権教育の手引き」を作成・配付し、「がいじ」発言への対応と指導を組織的に行なうための具体的な方策を提示した。 学校・家庭・地域が連携協力して活動するコミュニティ・スクールについては小学校3校、中学校1校で実施した。また、学校のホームページについては月1回以上の更新を促進した。 各学校の校内研修や小中連携教育の研究発表会に指導主事が積極的に参加し、具体的な改善策について指導を行い、教職員の実践的指導力の向上を図りながら人材育成を進めている。2名の指導主事が、のべ50回、学校に出向いての指導を行なった。 市教育センターでは、年間22回の研修事業を行い、教員の力量向上を図るとともに、糸島市の共通課題の解決に努めた。市教育センターでは、4名の研修員が1年間に渡る研修を行なった。
7. 成果と課題、今後の方向性	□成果 すべての学校で同和教育副読本や人権教育学習教材集を活用した年間活用計画が作成され実施されている。 コミュニティ・スクール4校については、学校・保護者・地域の協働の在り方が具体化しており、次年度以降の追加実施に向けたモデルとなり得ている。 平成5年度の開所以来、本市の教育センター研修経験教員は通算89名となり、教育力向上に寄与できる人材育成となっている。 ■課題 「人権教育の手引き」を活用した教員研修の実施や、年間指導計画への教材の反映状況について検証する必要がある。 コミュニティ・スクールについては実施校を拡大し、今後3年以内に市内全域で実施する方向で推進する。 市民が教育について考える「教育の日」に係る取組を、周年の節目に企画し具体化する必要がある。

主要施策の点検及び評価シート

1. 主要施策名	今日的課題に対応した教育の充実
2. 事業名	①情報教育推進事業 ②英語教育推進事業
3. 担当課	学校教育課
4. 事業の目的	I C T の充実や情報の収集並びに課題解決に向けての研修の充実を図る。また、情報活用及び情報モラルの基礎的な資質や能力の育成を図る。 小学校における外国語活動を推進し、来る英語教科化への対応を図るとともに、グローバル人材の育成を推進する。
5. 事業の内容	○情報モラル教育・I C T 教育の推進 ○グローバル人材を育成する英語教育の推進
6. 取組状況	糸島市コンピュータ利用促進協力協議会を設置し、タブレット端末や電子黒板などが活用できる環境の調査研究を行った。さらに学校ネットワークを構築し、教育委員会や学校間の情報共有のシステムを構築した。情報モラルについては、生涯学習課と連携して、中学生による「子どもサミット」を開催し、S N S 等の情報モラルについて生徒の手による主体的な問題解決を促進した。英語教育の推進については、3名のA L T を学校に派遣し、のべ513日間の授業補助を行った。小学校中学年における英語教育を先行実施するために、小学校4校をモデル校として教材開発やカリキュラム開発を行った。その結果、年間10時間程度の授業準備が完了した。市教育センターにおいては、九州大学との連携による英語指導力向上のための講座を年間2回開催し、46名の教員が研修に参加した。
7. 成果と課題、今後の方向性	□成果 学校ネットワークを構築することで、市内の教育機関での情報共有が促進された。今後は、ネットワークでつなぐ情報の領域や内容を拡大し、教材・教具の共有にむけた充実を図る必要がある。 子どもサミットにおいては、S N S の課題を中学生が共有し、自主ルールの策定に向けた意識付けを行うことができた。今後、具体的なルール策定に発展させることが必要である。 小学校中学年の英語活動について、10時間程度の教材が準備できた。残り2.5時間程度の教材作成を図るとともに、市の基底カリキュラムを作成・配付することが必要である。 ■課題 I C T 教育については、タブレット端末を導入した研究調査を行い、その効果や課題を明らかにするとともに、学校教育における今後のI C T 環境整備の基礎研究とする必要がある。 英語教育については、小学校中学年の教材とカリキュラムを完成させ、平成28年度実地に備える。また、中学校についても英語検定の推進などの事業を行う。英語教育を充実させるために、教育委員会内に英語コーディネーターを配置すること、A L T の増員を図ることなどの検討が必要である。

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	学校教育を支える基盤の充実
2 事業名	①学校施設整備の推進事業
3 担当課	教育総務課
4 事業の目的	安全・安心な教育環境の整備充実を図る
5 事業の内容	<p>○学校施設整備の推進</p> <p>学校施設等の危険箇所の優先的改修と老朽化している施設の順次改修、給食備品の更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学校施設改修事業（小規模營繕工事） 小学校 48 件、中学校 11 件、計 59 件 ○小中学校防災機能強化事業 福吉小学校体育館天井改修工事 可也小学校屋内運動場天井改修工事設計業務 二丈中学校武道場天井改修工事設計業務 福吉中学校武道場天井改修工事設計業務 ○中学校空調設備整備事業 2 中学校保健室に空調機を設置 ○前原中学校校舎改築事業 仮設校舎リース継続、校舎新築工事開始 ○二丈中学校プール新築事業 プール新築工事完了 ○給食備品等入替事業 食器消毒保管庫、回転釜、大型冷蔵庫等備品の入替
6 取組状況	<p>□成果</p> <p>耐震対応の防災機能強化事業は、本年度の設計業務の終了により 27 年度工事にて全校完了予定となる。また、糸島市実施計画における学校施設の改修工事（一般財源 2 億 5 千万円ベースのハード事業）の実施により、少しづつではあるが施設の改善ができた。</p> <p>■課題</p> <p>老朽化に伴う改善が必要な施設が数多く存在しており、毎年 2 億 5 千万円の一般財源予算では、部分的な改修工事にとどまり老朽化したすべての学校施設の改築はできない状況であり、早期の施設長寿命化計画による全面的な改修工事等が必要である。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	市民の学び方に応じた支援体制の確立と人的資源の活用
2 事業名	①学習できる環境づくりの推進 ②ボランティア活動の推進 ③九州大学等との連携
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	市民の多様なニーズに応え、「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べるよう生涯学習環境の整備・充実を体系的に進める。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習情報誌の発行 ○出前講座の実施 ○ボランティア情報の一元化 ○ボランティア派遣事業の実施 ○九州大学等の学生を活用した学習活動の推進
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習情報誌の発行 平成26年6月、各種イベントや講座・教室、サークル・ボランティア団体紹介、生涯学習関連施設等を掲載した情報誌を発行(1,400部)、庁舎や公民館等公共施設に配布し、市民への情報提供を行った。 ○出前講座の実施 市役所74、関係機関30の各メニューを設定し延べ343講座開催、15,507人受講(関係機関分除く)した。 ○ボランティア情報の一元化 地域振興課が所管する糸島市NPO・ボランティアセンターを主体に、糸島市社会福祉協議会、糸島市ボランティア派遣事務局のデータを収集し、市ホームページ上に公開。 ○ボランティア派遣事業の実施 ボランティア派遣事業運営委員会に事業委託。464回、1,755人を派遣した。 ○九州大学等の学生を活用した学習活動の推進 前原南公民館、東風公民館でスタディアワーを実施、可也公民館がアンビシャス広場で連携、加布里公民館でASKとして元教師が学習指導。 (※ASKとはafterschoolkominkan (公民館) の略)
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>ボランティア派遣、出前講座実績とも前年より増加し、多くの市民の方へ「生涯学習の場」や「高齢者の生きがいづくりの場」の提供ができた。</p> <p>■課題</p> <p>出前講座では、人気がある講座と、そうでない講座の二極分化が進んでいる。市民ニーズ等に応じた、講座メニューの企画が必要である。</p> <p>ボランティア派遣事業では、登録者の高齢化が進んでいるため、NPOボランティアセンターごらばと連携しながら新しい人材の発掘・育成が必要である。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	地域の拠点としての公民館活動の推進
2 事業名	①公民館講座の開設 ②地域諸事業（活動）の支援 ③利用者の立場に立った公民館運営 ④九州大学との連携
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	地域のニーズにあった講座を開催する。サークルや団体を支援し、自立を促す。利用者の立場に立った公民館運営を目指す。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館職員の研修による、資質の向上 ○公民館利用検討委員会での運営上の課題解決 ○公民館だよりの定期的発行と情報の発信 ○九州大学のボランティアグループとの交流促進
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館職員の研修による、資質の向上 公民館新任職員研修、県公民館実践交流会、福岡地区公民館研修会等への職員の参加、また公民館主事の自主研修会の開催で公民館職員の資質向上を図った。 ○公民館利用検討委員会での運営上の課題解決 公民館利用検討委員会を5回開催し、運営上の課題を解決した。 ○公民館だよりの定期的発行と情報の発信 全15公民館とも毎月公民館だよりを発行し、情報を発信している。また、各公民館のホームページにアップしている。 ○九州大学のボランティアグループとの交流促進 九州大学と公民館との交流事業を計45回開催した。 各公民館で高齢者学級、九大連携事業、健康づくり講座等をした。平成26年度に408の自主サークルが登録した。
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>研修会等への参加により、公民館講座の企画立案等、公民館の管理・運営の充実を図ることができた。</p> <p>■課題</p> <p>地域のニーズや地域課題等の変化への対応のため、今後も公民館職員の研修は必要である。また、公民館は様々な利用者、活動があり、今後も施設提供基準の見直しの検討が必要となる。</p> <p>防災の拠点としての位置付けもあり、体制づくりが必要である。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	生涯学習施設の整備
2 事業名	①生涯学習施設（公民館・図書館・体育施設等）の機能充実と整備 ②図書館等教育関連施設整備事業の実施 ③支所廃止後の図書館整備の検討
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	生涯学習施設として、15公民館、2屋内運動施設、11屋外運動施設、3図書館が安心して市民が利用できるように施設管理を行う。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○深江公民館の二丈庁舎への移転に向けた準備作業 ○15公民館施設の修繕、整備工事 ○旧九州電力前原営業所跡地への糸島市図書館及び教育センターの移転改修 ○二丈庁舎及び志摩庁舎の改修工事に向けての準備
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○深江公民館の二丈庁舎への移転に向けた準備作業 新深江公民館のレイアウトや移転について、地域の振興協議会や利用者団体と計5回の協議を行い要望を設計に反映した。 ○15公民館施設の修繕、整備工事 全公民館について修繕の必要な箇所を調査し、緊急度の高いものから順次修繕を行った。 前原公民館のLED化工事を完了した。各公民館で必要な修繕工事を行った。 ○旧九州電力前原営業所跡地への糸島市図書館及び教育センターの移転改修 工事の進捗に応じて現場を確認し、業者と協議しながら必要な工事の追加を行った。特に進入路の安全について協議を重ね安全確保に努めた。 ○二丈庁舎及び志摩庁舎の改修工事に向けての準備 図書館二丈館で8回、志摩館で7回の利用者懇談会を開催し、移転後の図書館二丈館、志摩館の設計に反映した。
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果 深江公民館の二丈庁舎への移転準備が完了した。 各種整備により公民館機能の向上を図ることができた。 図書館利用者の要望により、館内に飲食スペースを設けた。</p> <p>■課題 生涯学習施設全般について、安全性を高めるため、計画的な改修が必要である。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	図書館サービス基本計画の実現
2 事業名	①図書館利用の推進 ②図書館3館体制の図書館サービスの充実 ③図書館と学校・保育所等との連携事業の推進
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	市民の教育と文化の発展に寄与するため、資料の提供を通して市民の「知る権利」を保障し、生涯にわたる自己学習に資するよう図書館サービスの充実を総合的に進める。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の収集及び提供 ○イベントの開催 ○ボランティア団体活動の支援 ○図書館と学校の連携
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の収集及び提供 平成25年12月から貸出冊数を10冊から20冊に変更し、図書館サービスの拡大を図った。このため平成26年度は貸出冊数は539,520冊となり、前年対比で約4%の伸びとなった。 ○イベントの開催 定例おはなし会を開催し、のべ140名の参加があった。 ○図書ボランティア団体活動の支援 市民の読み聞かせボランティアへの関心・要望に応えるため、読み聞かせボランティア養成講座（講演会と講座）を開催。23名参加。 子ども読書に関連する諸団体等の交流の場である「子どもの読書」ネットワーク糸島では、福岡県地域福祉財団の助成金を受けて市民を対象としたワークショップを開催した。 講師 中垣ゆたか先生（絵本作家）。63人参加。 「子どもの読書」ネットワーク糸島会員数11団体と個人9名。 ○図書館と学校の連携 糸島市学校図書館協議会において、図書の情報提供や指導等を行っている。また、糸島市小学生読書リーダー養成講座を開催し、小学校における読書活動の推進を図った。 16校 32名参加。事例報告校3校（一貴山小、怡土小、加布里小）
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>3館体制の確立により、貸出冊数も順調に伸びてきている。また、「小学生読書リーダー養成講座」を開催することにより、学校内の読書活動の活性化に繋がった。</p> <p>■課題</p> <p>移動図書館の代替サービスとして、団体貸出制度の拡充を実施しているが、さらなる利用促進を図る必要がある。</p> <p>また、糸島市図書館、二丈館、志摩館の移転を進めるとともに、図書館サービスの充実として定期的な講座、講演会等を開催する必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	青少年健全育成に向けた環境整備
2 事業名	①学校・家庭・地域の連携強化 ②健全育成事業の充実
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	次代を担う青少年たちが、心豊かに、広い視野で、高い志を持って、たくましく成長することを願って、健全育成事業を実施する。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成市民会議・校区民会議の充実 ○青少年育成指導員会の活用 ○社会教育関係団体の育成 ○青少年体験事業の実施 ○ジュニアリーダーの育成
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成市民会議・校区民会議の充実 平成22年6月、糸島市青少年育成市民会議設立、その後全15校区に校区民会議を設立し、地域の特性を生かした様々な青少年健全育成活動を行っている。 ○青少年育成指導員会の活用 各行政区に1名配置（人口1,000人以上の行政区は2名）。現在、197名に委嘱し、夜間巡回、青バト巡回等を実施。 ○社会教育関係団体の育成 PTA活動団体等、計36団体に補助金交付 ○青少年体験事業の実施 小学4～6年生を対象とした「ドリームトレイサー2014」を実施。年6回、計8日間の事業により児童に様々な体験をさせている。事業例…キャンプ、ナイトハイク、二丈岳登山、野外調理など 中・高校生を対象とした「ジュニアリーダーズクラブどんぐり」を実施。年8回の事業により生徒に様々な体験をさせている。事業例…キャンプ、野外調理、レスキュー教室、ディベートなど ○子ども会ジュニアリーダーの育成 中学生を対象に「ジュニアリーダー研修」を実施。年3回、計5日間の研修により、リーダーとしての理論、技術を学んでいる。19名が修了。
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>青少年育成校区民会議や青少年育成指導員については、他校区との情報交換等を行いながら、それぞれの地域にあった取り組みが行われている。</p> <p>■課題</p> <p>コミュニケーションスクールの導入や、土曜授業、SNS問題など、児童、生徒を取り巻く環境の変化に応じた取り組みが求められる。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	移動天文台事業の充実
2 事業名	①観望会の実施 ②指導ボランティアの育成 ③天文台を中心としたネットワークづくり
3 担当課	生涯学習課
4. 事業の目的	天文台を中心として、子どもたちが空や宇宙への夢を創造する機会や、市民が天体や宇宙に関する学習機会を設ける。 指導ボランティアなど、地域の人材育成を図る。
5. 事業の内容	○校区観望会、出前講座の実施 ○星空ナビゲーター養成講座の実施 ○九州大学、小中学校、NPO団体・ボランティア団体など新たな交流機会の創出
6 取組状況	○校区観望会、出前講座の実施 校区星空観望会15回、出前講座17回の計32回の観望会を実施し、参加者は1,357人の参加があった。 ○星空ナビゲーター養成講座の実施 指導ボランティアの育成のため、星空ナビゲーター養成講座を8回実施し、受講者75人（うち修了者27人）の参加があった。 ○イベントの実施 皆既月食観望会には約500人、市民まつりの出店には1,000人を超える参加があった。
7 成果と課題、今後の方向性	□成果 平成26年度から観望会を出前講座のメニューを入れたことにより、昨年より1.5倍以上の参加者があった。 指導ボランティアも、養成講座、観望会への協力により知識、技術、意識の向上が図れた。 ■課題 指導ボランティアの組織化を図り、今後の観望会の企画・運営等の中心となるよう育成する。 九州大学等の連携ができていないので、今後、連携を図りたい。

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	スポーツ・レクリエーション施設の整備充実及び利用の促進
2 事業名	①スポーツ施設の充実 ②学校施設開放事業の推進 ③総合運動公園の検討
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	誰もがいつでも、どこでも気軽に参加できる条件整備を図る。
5 事業の内容	○学校教育に支障のない範囲で、小中学校体育施設を地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放 ○市民のニーズに合った運動施設の整備と、既存施設の合理的活用 ○老朽化した立花運動場の改修工事 ○総合運動公園の検討
6 取組状況	○学校教育に支障のない範囲で、小中学校体育施設を地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放 小学校開放施設は公民館において調整会議を開催し、利用者の希望に沿った利用ができるよう調整している。 中学校開放施設は、生涯学習課において利用の調整を行い、利用者の希望に沿った利用ができるよう調整した。 ○市民のニーズに合った運動施設の整備と、既存施設の合理的活用 市内体育施設及び学校開放施設利用者のニーズに合った備品整備を行った。 ○老朽化した立花運動場の改修工事 工事を継続して行い、外周のフェンス工事、トイレの改修を行った。 ○総合運動公園の検討 企画部において、総合運動公園等整備構想に基づく多目的体育館の整備を検討され、概要が固まった。
7 成果と課題、今後の方向性	□成果 ○学校開放施設は中学校6施設(73団体)、小学校15施設(174団体)を併せて247団体が利用している。 ○立花運動場整備(トイレの簡易水洗化、多目的トイレの新設)。 ○多目的体育館の整備が決定。 ■課題 ○利用者の安全・快適性を確保するため、老朽化した施設の計画的な改修・修繕が必要。 ○スポーツ種目・団体の多様化に伴い、今後も不足している備品の計画的な整備が必要。

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	生涯スポーツの振興
2 事業名	①ニュースポーツ講習会の開催等によるスポーツ人口の拡大 ②スポーツレクリエーション情報の提供、指導体制の整備 ③地域活動指導員による講座の実施
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	市民の誰もが生涯にわたってスポーツに親しめるようスポーツの振興を図る。
5 事業の内容	○ニュースポーツの指導普及 ○青少年スポーツ、高齢者スポーツの取組 ○各種スポーツ大会等の開催
6 取組状況	○ニュースポーツの指導普及 小学校や放課後児童クラブにおいて、スポーツ推進委員によるニュースポーツ、軽スポーツの指導普及を行っている。 ○青少年スポーツ、高齢者スポーツの取組 青少年スポーツとして、スポーツ少年団等の指導育成を行っている。 健康づくり課主催のしあわせ教室にスポーツ推進委員を派遣するなど、高齢者を対象としたニュースポーツの指導・普及を行っている。 地域活動指導員が公民館講座や出前講座の講師となり、健康づくり・体力づくり講座を実施している。 ○各種スポーツ大会等の開催 体育協会との共催により糸島市体育大会、スポーツフェスティバルを開催し、各競技団体等が開催する大会やイベントの後援を行っている。
7 成果と課題、今後の方向性	□成果 スポーツ推進委員による小学生を対象としたニュースポーツ指導や体力テストの補助を25回、高齢者を対象としたニュースポーツ指導（しあわせ教室）を5回実施した。 地域活動指導員による健康づくり・体力づくり講座を58回実施した。 ■課題 ニュースポーツ指導等の依頼については、今後ともボランティア派遣事業事務局との連携により事業を進める。また、ニュースポーツ用具等を計画的に整備し、積極的な普及を図る。 スポーツ大会等の充実を図り、スポーツ人口を増加させる。 糸島市体育協会の会員数については、平成32年度の目標値を6,040人とする。

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	指導・相談体制の充実
2 事業名	①スポーツ推進委員、各種スポーツ指導員の育成 ②体育協会・スポーツ少年団等スポーツ団体の育成指導 ③スポーツに係る相談体制の充実 ④地域活動指導員による健康づくりの推進・指導
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	スポーツ関係団体及び指導者を育成し、指導・相談体制の充実を図る。
5 事業の内容	○スポーツ推進委員等指導者の育成 ○体育協会・スポーツ少年団等スポーツ団体の育成指導 ○地域活動指導員による健康づくりの推進・指導
6 取組状況	○スポーツ推進委員等指導者の育成 県が主催する研修会・講習会への参加等により、スポーツ推進委員の資質向上を図った。定例会の開催時、ニュースポーツの紹介を行い、指導できるようになった。 ○体育協会・スポーツ少年団等スポーツ団体の育成指導 研修会の開催に向けての事務協力をしている。研修会の講師の紹介をしている。 ○地域活動指導員による健康づくりの推進・指導 市民や公民館の求めに応じて開催されている出前講座などで、健康づくりの指導を行っている。特にウォーキング講座は人気講座となっている。
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> スポーツ推進委員が参加した研修会・講習会（4回） 体育協会・スポーツ少年団共催の指導者・保護者研修会（1回） 地域活動指導員による健康づくり講座（59回） <p>■課題</p> ○スポーツ推進委員のさらなる資質向上。 ○地域活動指導員による講座の充実。

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	大会・交流の推進
2 事業名	①スポーツフェスティバル等大会・試合等の推進 ②福岡マラソンの開催支援
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	スポーツ大会等を開催することにより、交流機会を創出する。
5 事業の内容	○糸島市体育大会及び糸島市スポーツフェスティバルを開催 ○各校区におけるスポーツ大会等の開催を支援 ○福岡マラソンの開催を支援
6 取組状況	○糸島市体育大会及び糸島市スポーツフェスティバルを開催 体育協会との共催により、糸島市体育大会及び糸島市スポーツフェスティバルを開催している。 ○各校区におけるスポーツ大会等の開催を支援 各校区におけるスポーツ大会等に対し補助金の交付、用具等の貸出を行っている。 ○福岡マラソンの開催を支援。 福岡マラソンについて、実行委員会事務局と連携し、開催に向けた支援を行っている。
7 成果と課題、今後の方向性	□成果 糸島市体育大会、糸島市スポーツフェスティバル（各1回） 全校区でスポーツ大会等行事が実施された。 福岡マラソンの成功。 ■課題 糸島市体育大会、糸島市スポーツフェスティバルの充実。 福岡マラソンへの市民理解とフィニッシュ会場の混雑解消。

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	伊都国歴史博物館等の整備・充実・活用
2 事業名	①博物館等の活用事業
3 担当課	文化課
4 事業の目的	<p>○伊都国歴史博物館、志摩歴史資料館を起点として、市民がふるさとの歴史文化に親しみを抱き、また誇りを持てるように、展示会や各種講座の開催を軸に啓発活動を展開するとともに、文化財の調査・研究事業にも取り組む。</p> <p>○糸島ブランドのひとつである「伊都国」を核に、市内に所在する各種文化財を活用して、歴史のまちのイメージアップを進める。</p>
5 事業の内容	<p>○博物館等の充実と活用 ・伊都国歴史博物館の企画展示、調査研究の充実 ・志摩歴史資料館の活用</p> <p>○教育普及活動の充実 ・博物館ボランティアの育成と活用 ・博物館資料を活用した講座の充実 ・地域活動や教育活動との連携した事業の展開</p>
6 取組状況	<p>秋季特別展として、熊本地方と北部九州の弥生文化の交流の様相を考察した「狗奴国浪漫」展を開催し、5,000人を超える入館者があった。</p> <p>企画展として「糸島の古代」展、糸島市の指定文化財を紹介する「糸島市のたからもの」展、糸島地方の近世古絵図を集めた「描かれた糸島」展などを開催し地域の歴史文化の紹介に努めた。</p> <p>普及活動として、講座は名誉館長講座12回、館長講話12回、伊都学7回、とびだせ博物館3回等を開催し、文化財の普及ならびに学習の場の提供に努めた。また、博物館ボランティアの会と連携し文化講演会やボランティア研修会なども開催している。</p> <p>博物館開館10周年記念事業として伊都国フォーラム「伊都国女王と卑弥呼」を開催した。博物館にて特別講座、伊都文化会館においてシンポジウムを開催し、800名の参加者があった。</p> <p>出前講座、博物館での観覧等、市内小中学校の利用回数は年間40件を越え、高い利用件数で推移している。</p> <p>また、志摩歴史資料館においても企画展として「興止姫宮の社宝」展、「世界の蝶と蛾」展、「殿さまの糸島巡見記」展、「児童絵画展」、「糸島のひなまつり」展を開催した。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>企画展示では、昨年度に引き続きテーマを原始から近代まで広く設定し、多様な糸島の歴史を紹介し、郷土に関する市民の見識の拡大に努めた。なかでも「興止姫宮の社宝」、「殿さまの糸島巡見記」、「描かれた糸島」の各展示会は、これまで知ることが少なかった江戸時代の糸島の歴史をひも解く展示会として、高い評価を得た。</p> <p>地域の教育活動との連携では、小学校の授業での来館が徹底されたことにより利用率がさらに向上した。また市民団体などが企画する歴史講座についても引き続き学芸員を派遣し、とくに神奈川県の相模女子大への学芸員派遣は好評を得た。</p> <p>■課題</p> <p>民俗文化財、古文書など市民が私蔵する文化財に関する問い合わせ、寄贈・寄託の相談件数が増加しており、市内の各種文化財の悉皆調査、対策案を検討する必要がある。</p> <p>伊都国歴史博物館と志摩歴史資料館で年間計8回の展示会を開催しているが、現有的学芸員の体制では企画に必要な資料の収集・調査研究の時間が確保できないため、企画事業の先細りがさらに深刻化している。さらに、志摩歴史資料館の入館者も年間1万人を越え、利用者数が増加しており、現在2名の嘱託員で来館対応、企画事業を展開しているが、専門の常勤学芸員の配置も検討が必要である。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	史跡の整備・活用
2 事業名	①指定文化財等の環境整備事業
3 担当課	文化課
4 事業の目的	重要遺跡の計画的な発掘調査を行い、遺跡の保存と史跡指定に向けた資料の収集を行う。 国指定史跡の買上事業を行い、史跡の保全に万全を期すとともに、指定史跡等の維持・管理を行う。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○糸島市内遺跡の計画的発掘調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡指定に向けて行う重要遺跡の確認調査 ○指定文化財等の計画的環境整備の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡等用地の公有化事業 ・史跡の維持・管理 ・史跡等説明板の整備 ・指定文化財保護事業への補助
6 取組状況	<p>重要遺跡確認調査においては、三雲・井原遺跡の発掘調査を実施し、国の史跡指定の資料および今後の遺跡の保存の資料とした。</p> <p>史跡整備のための用地買上事業は、国指定史跡「曾根遺跡群」の買上を行った。</p> <p>史跡の維持・管理では、業者及び行政区等に委託し実施し、史跡等の説明板については4ヶ所を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡発掘調査(補助事業) <ul style="list-style-type: none"> 三雲・井原遺跡；番上地区 500m² 志登遺跡群 115m² 篠原東遺跡 13,400m²（一部に国庫補助金充当） 出土遺物保存処理（計7点、御床松原遺跡5点、引ヶ浦古墳1点、三雲・井原遺跡1点） ・国指定史跡史跡用地買上(補助事業) <ul style="list-style-type: none"> 曾根遺跡群（錢瓶塚古墳） 423.31m² ・指定文化財の管理事業 <ul style="list-style-type: none"> 業者委託（除草等業務） - 銚子塚古墳(1回)、二丈岳城(1回)、釜塚古墳(2回)、怡土城跡(6回)、平原遺跡(2回)、曾根遺跡群(2回)、井原1号墳(2回)、塚田南遺跡(1回)、萬龍楓(2回)、キツネノカミソリ(1回)、志登支石墓(1回) 行政区等委託（除草・巡回等） - 11行政区（三雲・三雲遺跡、高祖、大門、高来寺-怡土城跡、飯原-雷山神籠石、雷山-雷山の観音杉・雷山神社のイチョウ・雷山神籠石、油比-油比の殿川、平原-平原遺跡、志登-志登支石墓群、西堂-西堂古賀崎古墳、志摩新町-新町支石墓群）、1自治会（レガロ深江-塚田南遺跡）、2団体（泊井戸の会-泊産安の井戸、姉子の浜の鳴き砂を守る会-姉子の浜・鳴き砂） ・史跡等説明板の整備；4ヶ所 <ul style="list-style-type: none"> 井原遺跡、怡土城跡、上罐子遺跡、志登支石墓群 ・指定文化財保護事業への補助 <ul style="list-style-type: none"> 高祖神社社殿修理事業（県費継足し補助）
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>重要遺跡確認調査においては、三雲・井原遺跡の発掘調査において国指定に向けての基礎資料を追加することができた。史跡地については、買上事業を実施し、確実に史跡を保存することができた。また、維持・管理においては行政区等と連携して草刈り等の管理を行い、市民に憩いと歴史学習の場を提供することができた。高祖神社本殿の修理事業に補助を行い、指定文化財の保存修理を行うことができた。</p> <p>■課題</p> <p>史跡指定地が広範囲に及び、竹や高木の管理が必要な箇所が多くあるため計画的な施業が必要である。また、史跡の活用を図るために、買上後の具体的整備計画を策定する必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	文化財の保護・活用
2 事業名	①文化財の保護・活用事業
3 担当課	文化課
4 事業の目的	<p>文化財が貴重な国民共有の財産であり、公共のために大切に保護する。文化財の公開や啓発事業の実施によって、文化財を守り郷土を愛する意識を醸成する。</p> <p>地域と連携した保護活動によって文化財愛護思想の普及を図る。</p>
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護・保存 <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財発掘調査の実施 ○文化財愛護思想の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・報告会の開催と啓発資料の充実 ○無形文化財の保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・保存団体との連携と後継者育成
6 取組状況	<p>開発事業に伴う発掘調査を行い、遺跡の記録保存を行った。また、発掘調査の成果の公開事業として、現地説明会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡発掘調査(受託事業) <ul style="list-style-type: none"> 篠原東遺跡群(前原東区画整理事業用地内) 13,400m² ・市内遺跡発掘調査(市単独) <ul style="list-style-type: none"> 三雲・井原遺跡出土品整理作業他 開発事前審査；155件 発掘調査現地説明会 <ul style="list-style-type: none"> 篠原東遺跡群；1回、三雲・井原遺跡；1回 計2回 「糸島市文化財マップ」、「三雲・井原遺跡解説パンフレット」を10,000部、「新町支石墓群リーフレット」20,000部作成して、無料で配布し、市内の文化財の紹介に努めた。 歴史漫画「伊都国ロマン」を歴史学習の副読本として市内小学校6年生全員に、伊都国の歴史の紹介として新しく糸島市に転入された方に配布した。 無形民俗文化財を保存・伝承している保存団体に対する補助として県指定高祖神楽育成補助金、市指定福井神楽育成補助金、市指定大入盆綱引き育成補助金を交付した。
7 成果と課題、今後の方向性	<p>■成果</p> <p>発掘調査においては、糸島市内の遺跡の資料を保存、蓄積することができた。</p> <p>発掘調査現地説明会は計2回を実施し、市民に対し調査成果を公開することができ、発掘調査事業への理解を促進することができた。</p> <p>「糸島市文化財マップ」「伊都国ロマン」等の配布は、市民が糸島の歴史に親しむきっかけとなった。</p> <p>民俗文化財保存団体への補助金を交付し、無形民俗文化財を伝承することができた。</p> <p>■課題</p> <p>文化財愛護思想の普及のために文化財説明資料の充実を図る必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	文化・芸術の振興
2 事業名	①文化事業の充実 ②文化芸術関係団体の支援と連携 ③伊都文化会館及び伊都郷土美術館の整備と活用
3 担当課	文化課
4 事業の目的	市民が身近で文化にふれ、鑑賞し、体験できる機会をつくり、自ら文化を創造していくことができる仕組みづくりや活動の場を提供する。 文化団体と連携し文化事業を充実させるとともに、文化芸術関係団体を支援し自主的な文化芸術活動を促進する。
5 事業の内容	○主催事業の開催と誘致事業の展開 ○開催事業の支援と共催事業の充実 ○施設改修等による機能の充実 ○ホームページ等による情報発信の充実
6 取組状況	<p>各種文化事業を推進するため、市単独事業の開催、共催事業の開催に取り組んでいる。</p> <p>○市単独事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸島市立中学校美術部生徒作品展 会期 平成26年10月29日～11月3日 ・みんなのコンサート 平成26年9月21日（日）志摩歴史資料館 観客数202人 子育てシンガーM o nさんによるコンサート 平成27年2月8日（日）深江公民館 観客数130人 村岡すみえ、福岡サロンオーケストラによるコンサート ・伊都文化会館文化振興イベント「いとしまJazz祭」 平成27年2月17日（水・祝） 観客数 520人 <p>○共催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸島市吹奏楽祭 平成26年4月27日（日）伊都文化会館 ・糸島芸術の祭典 芸能発表 平成26年11月16日（日） 文化展 平成26年11月22日（土）、23日（日） 伊都文化会館 ・糸島美術工芸展 平成27年1月4日（土）～12日（月・祝）伊都郷土美術館
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>中学校美術部生徒作品展では、美術館において表彰式と作品講評を行った。</p> <p>みんなのコンサートは2回開催し、市民が気軽に音楽を楽しむ場を提供することができた。また、伊都文化会館文化振興イベントとして開催した「いとしまJAZZ祭」では、質の高い芸術を提供することができた。</p> <p>■課題</p> <p>市主催事業や共催事業の開催、質の高い芸術文化の継続的な提供を行うことにより、更なる文化芸術の振興を進める必要がある。</p> <p>また、ホームページ等により文化芸術に関する多様な情報提供を行う必要がある。</p>

4 点検・評価に関する学識経験者からの意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律27条2項の規定に基づき、標記の報告書に対し若干のコメントをさせていただきます。

まず、糸島市教育委員の活動について、定例の教育委員会会議、学校訪問等の各状況が、統いて教育委員会審議案件一覧と教育委員会臨時代理報告案件がまとめてあります。ここから定例の会議や学校訪問について、教育委員会としての職責を十分に果たしていることが伺えます。次に、施策の取組状況について、総括的な評価と具体的な主要施策の点検及び評価が6頁以降にまとめられています。5頁から6頁の総括的な評価については、昨年度と比較すると生涯学習とスポーツレクリエーションにそれぞれ2項目増えており、「生きる力」を育てる学校づくり」7項目、「生涯学習推進のための環境づくり」6項目、「スポーツレクリエーションの振興」4項目、「文化・芸術のまちづくり」4項目の、計21項目について、4段階（A効果が上がっている／B概ね効果が上がっている／Cあまり効果が上がってない／D改善の必要がある）で評価されています。評価結果についても21項目中、8項目がA、13項目がBであり、昨年と同様にCとDの評価のついた項目はないという評価がなされています。また、7頁以降の主要施策の点検及び評価シートには、評価根拠となるような具体的な取組状況ならびに成果と課題が記載されています。昨年と同様にすべての領域にわたって及第点に達した成果を挙げている実感を持っていることは評価できます。また、それぞれの基本目標の達成に向けて実施された主要事業を通覧すると、各々の評価根拠が具体的で妥当なものであることがわかります。

次に、次（平成27）年度からは新たに策定された「糸島市教育振興基本計画」に定める各数値目標に基づく具体的な成果を公表して点検評価を行うということであり、評価シートに記載されている課題に関して検討していただきたいことを指摘させていただきます。

例えば、「確かな学力」や「豊かな心」に関して、土曜授業の実施については学力向上に向けた取組が行われた時数を明らかにすること、2分の1成人式や立志式の完全実施やSNS等のいじめ防止のため児童生徒によるルール作り等が課題として記載されています。数値目標や事業の徹底は教育行政の実際の取組について検証する際もちろん大切な視点となります。しかし、それにとらわれ過ぎると、それぞれの校区や学校の現状と課題に則したきめ細やかな教育に適切ではない影響を与えることも考えられます。この点に是非留意いただき、達成状況と合わせてそれぞれの校区や学校における具体的な教育の姿を明らかにする点検評価が行われるようお願いしたいと思います。また、「学校教育を支える基盤の充実」や「生涯学習施設の整備」について、老朽化への対応や安全性を高めるための改善・改修が必要な旨記載されています。財政状況が厳しいおり大変なことだと思いますが、こういった点には具体的な現状把握と数値目標を掲げた確実な取組が求められると言えます。

教育委員会の取組への理解と支援は、子どもたちや市民の皆様にとってよりよい教育や学習が展開することで得られるものですから、中長期の展望をもって、具体的な改善の方向を糸島市の教育関係者各位が共通に認知し、改善の実現に努力されますことを願います。

平成27年6月29日
九州大学大学院教授 田上 哲

5 資料

教育委員会委員名簿（平成27年3月31日現在）

区分	氏名
教育委員長	徳田 敬
委員（職務代理者）	西憲一郎
委員	松尾 実恵
委員	宮崎 真希子
教育長	家宇治 正幸

平成26年度糸島市教育委員会組織機構図

